



見つけた幼虫は、観察小屋へ引越させ、そこでサナギ〜成虫になる。



昨年度に完成させた観察小屋

みんなで何匹くらい引越させたかな？子どもたちも頑張って2〜往復していたので 150〜180 匹くらいはいたことになる。



観察小屋内の生育木枠にどんどん引越してくる幼虫たち





ちょっと目にした
おもしろい山観察 (3)
野原のササユリの花を咲かせるまで7年かかります

ササユリ：宿根多年草
タネまきから開花まで6~7年かかってやっと花を咲かせる。3年目くらいまでは地面から1枚の葉を出すだけ。4年目くらいからやっと葉をつくる。開花後は2~3年で枯れていく。

1年目の芽
2~3年目の芽
4~7年目にやっと花をつける。その後、翌年春に咲いて枯れていく

ちょっと目にした
おもしろい山観察 (4)
ジャコウアゲハとクマノスズクサ

ジャコウアゲハ

鳥はいろいろな卵や蛹を捕まえるが、ジャコウアゲハだけは絶対に食べないらしい。何故かな？

クマノスズクサ

ジャコウアゲハが食草としているクマノスズクサの葉や茎に含まれるアリストロキチン酸という毒に耐性のある有機成分を食べ、からだに貯え、臭いを発しているらしい。

ちょっと目にした
おもしろい山観察 (1)
ハイロチョッキリとコナラの梢

若いドングリが付き始めた夏の里山でよく出会う小枝のついた梢の落ち葉

ハイロチョッキリという昆虫です若いドングリの若い小枝を選んでせっせとカットしていき、皮1枚残して作業中断

ドングリに産卵してから噛み残した小枝を「チョッキリ」…葉をヘリコプターのようにして落とす。卵への衝撃防止らしい

ふ化した幼虫はドングリの中で実を食べて育ち、成虫になって出てくる

- (1)きれいな花を咲かせるササユリも、種から芽を出して花を咲かせるまでには7年もかかること
- (2)ジャコウアゲハは、幼虫の段階からアリマウマノスズクサという毒草を食べ、鳥から身を守っていること
- (3)ハイロチョッキリという昆虫は、コナラのドングリに卵を産み付けてから、葉の付いた小枝をかみ切ってヒラヒラゆっくり落とし、幼虫はどんぐりを食べて大きくなり、成虫になって出てくることなど

【工作：バードコールをつくろう】

乾燥させておいたヤブツバキの小枝で「バードコールづくり」に挑戦。





ノコで切った小枝に穴をあけてもらう。
随分くっついて並んでるなあ。姉妹かな？



あいた穴にアイボルトをねじ込んでいくと、摩擦音でキュッ キュッと鳴きだす。うまくできると小鳥にそっくりの鳴き声も…。うまく鳴きだしたかな？

【今回はおみやげに幼虫 2 匹ずつ】



持ち帰った幼虫はしっかり世話をするんだよ。
次回 7 月 22 日のときに様子を聞かせてください。



ふりかえりシートもしっかり書いてもらった



おわりの会

この次の 7 月 22 日成虫観察では、今日引越しさせた幼虫がしっかり成虫に育っている。お楽しみに。



次回の案内書を配るのでよく読んで元気に参加してください。